

真建設発第 636 号

平成 20 年 10 月 15 日

国土交通省道路局長 殿

真室川町長 井 上



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成 20 年 9 月 19 日付け国道企第 37 号で依頼のありましたこのことにつきまして、別紙のとおり提出いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①・道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

山形県真室川町

今までの道路整備は人口密度の高い地域から順次整備し、効果が実績としてありますが、その逆に中央集中型の社会となり、中央と地方の格差に拍車をかけた原因のひとつとなっております。

今後の道路行政は、整備計画(未供用)区間の早期完成を図り、国土の均衡ある整備を目指すべきと考えます。

○現状

山形県とりわけ最上地区は高速道路が未整備な為、既存の工場閉鎖や新たな工場誘致がしにくい状況の一因となっております。

その結果、雇用の場がなくなり若者の地元離れ現象に拍車がかかり高齢者率が高くなっております。

○課題

道路行政と雇用創出は密接な関係となっており、地域の課題を解消するには下記の道路整備が緊急の課題であります。

- ①東北中央自動車道 山形県東根IC～秋田県雄勝こまちIC間の早期完成
- ②新庄・酒田道路の早期完成
- ③石巻・新庄道路の早期着工
- ④日沿道新潟県荒川IC～秋田県本荘間の早期完成
- ⑤一般国道344号の整備
- ⑥主要地方道真室川・鮭川線の橋梁架け替えと狭小幅員区間の整備

②－2 地域の目指すべき将来像

山形県真室川町

高速道路網整備の効果により、地場産業の発展と新たな雇用機会を創出し、人口減少・高齢化率が進む中でも安定した経済成長を図り、多様な主体の協同を促進し、経済力だけでなく文化面や社会面も含めた地域の総合力を結集し、安心して住み続けられる地域形成

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

山形県真室川町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域経済の向上	一般国道344号の整備	岩手県南部に進出した自動車関連工場の部品工場等二次的産業の創出が期待できる	
・交通安全対策	橋梁の耐震対策と狭小幅員道路の解消	近年多発している地震に対する不安感の解消と安全面の対策 積雪地域の冬期間の交通路確保	
⋮			